

地震時の身を守るための標語とポーズに関する一考察： 「おかしも（おかしも）」と「ダンゴムシのポーズ」に着目して A Study on Catchphrases and Poses for Earthquake Protection: Focusing on the Alarm Word 'OHASHIMO/OKASHIMO' (a Japanese acronym) and the Pill Bug Pose

○秦 康範¹, 江夏 猛史²
Yasunori HADA¹ and Takeshi ENATSU²

¹ 日本大学危機管理学部

College of Risk Management, Nihon University

² NPO法人減災教育普及協会

Association for Promoting Disaster Risk Reduction Education

This paper focuses on the alarm word 'OHASHIMO/OKASHIMO' (a Japanese acronym) and the pill bug pose for earthquake safety. Using materials published by prefectural boards of education nationwide, we aim to clarify the extent to which OHASHIMO and the pill bug pose have taken root in schools. The survey revealed that OHASHIMO and the pill bug pose are mentioned in materials issued by prefectural boards of education in 35 and 6 prefectures, respectively.

Keywords : Earthquake, disaster education, evacuation, catchphrase, pose, OHASHIMO, pill bug pose

1. はじめに

2011年3月に発生した東日本大震災以降、全国の保育・学校施設において防災教育の取組が活発に行われるようになった。特に津波により多くの人が犠牲になったことから、津波からの避難訓練は大きく変わることとなった。一方、地震の揺れに対する避難訓練はどうか。一般的に行われている地震を想定した避難訓練は、以下のようなものだろう。授業時間中に、教頭先生による「ただいま地震が発生しました」との校内放送に始まり、机の下に隠れて、その後「地震が収まりました。ただちに校庭に避難しなさい」との放送を受けて、防災頭巾やヘルメットをかぶり、廊下に整列して、校庭に集合する。実は、地震の揺れに対する避難訓練は、30年前の1995年阪神・淡路大震災の頃と驚くほど変わっていない。変わったのは、「おはしも（おかしも）」（以下、「おはしも」と呼ぶ）や「ダンゴムシ」など、避難に関する標語やポーズを用いた避難訓練が全国の保育・学校施設に取り入れられていることである。

そこで本研究では、「おはしも」や「ダンゴムシ」がどの程度、学校現場において定着しているのか、全国の都道府県教育委員会が発行している資料を手がかりに、その実態を明らかにすることを目的とする。

2. 「おはしも（おかしも）」と「ダンゴムシ」

(1) おはしも（おかしも）

「おはしも（おかしも）」は、おさない、はしらない（かけない）、しゃべらない、もどらないの災害時の避難行動原則の頭文字をとって「おはしも（おかしも）の約束」として、全国の保育・学校施設で広く指導されている。阪神・淡路震災以降、消防庁による教育安全指導のガイドラインに紹介されたことにより、急速に全国に普及、主に低学年の児童や園児のための避難訓練で活用されるようになった¹⁾。当初は「おはし（おかし）」だったが、後に津波避難の「も」（もどらない）が追加された。また、「ち」（ちかづかない）を追加した「おか

しもち（おかしもち）」や、静岡県では「あおい」（あわてない、おさない、いわない）等が存在する。

(2) ダンゴムシのポーズ

第二著者は全国の保育・学校施設等を対象に2000件以上に及ぶ指導実績を有し、多くの施設において「ダンゴムシのポーズ」が指導されているのを確認している。明確な時期は不明であるが、2000年代中旬頃には一部の施設で導入されていたようである。なお、ダンゴムシのポーズが、どのような経緯で保育・学校施設に導入され、広がったのかについては、確認できていない。

一方、近年急速に広がっている背景として、様々な防災教育の絵本^{たとえば2)3)}に取り上げられていることや、大木⁴⁾⁵⁾の取組の影響が大きいと推察される。

3. 方法

文部科学省が制作している Web サイト「文部科学省×安全教育」⁶⁾の都道府県・政令市教育委員会作成資料一覧を調査対象とする。このサイトにおいて、「領域：災害安全」、「災害種：地震」を選択したところ、144 資料が抽出された（表 1）。多い順に東京都は 10、高知県は 8、千葉県・兵庫県は 7、宮城県・山梨県・長野県は 6 と続き、佐賀県・宮崎県は登録数 0 であった。

本研究では、これら 144 資料を対象とし、「おはしも（おかしも）」と「ダンゴムシのポーズ」の記載の有無について、PDF の検索機能ならびに目視により確認する。資料の確認は、日本大学危機管理学部秦研究室のゼミ生（大学 2 年生 13 人）が行い、実施時期は 2024 年 12 月下旬にかけてである。

4. 結果と考察

調査結果を表 1 に示す。おはしも（おかしも）は 35 都道府県において、ダンゴムシは 6 都県において、それぞれ教育委員会が作成した資料において記載されていることが明らかとなった。

表 1 「文部科学省×安全教育」の都道府県・政令市教育委員会作成資料一覧に登録されている資料数、及び「おかしも/おはしも」と「ダンゴムシ」に関する記載の有無（調査時期：2024 年 12 月）

都道府県	登録資料数	おかしも/おはしも	ダンゴムシ
北海道	5	○	×
青森県	2	○	×
岩手県	3	×	×
宮城県	6	○	○
秋田県	2	○	×
山形県	2	○	×
福島県	3	×	×
茨城県	2	○	×
栃木県	2	×	×
群馬県	3	○	×
埼玉県	2	○	○
千葉県	7	○	×
東京都	10	○	○
神奈川県	2	○	×
新潟県	1	○	○
富山県	1	×	×
石川県	1	○	×
福井県	2	×	×
山梨県	6	○	×
長野県	6	○	×
岐阜県	2	○	○
静岡県	5	○	×
愛知県	4	×	○
三重県	1	○	○
滋賀県	1	○	×
京都府	1	×	×
大阪府	1	○	×
兵庫県	7	○	×
奈良県	3	○	×
和歌山県	5	○	×
鳥取県	2	○	×
島根県	2	○	×
岡山県	3	○	×
広島県	3	○	×
山口県	3	○	×
徳島県	4	○	×
香川県	4	○	×
愛媛県	1	○	×
高知県	9	×	○
福岡県	1	×	×
佐賀県	0	×	×
長崎県	2	○	×
熊本県	5	○	×
大分県	4	×	×
宮崎県	0	×	×
鹿児島県	2	○	×
沖縄県	1	○	×

5. おわりに

筆者らは、「おはしも（おかしも）」や「ダンゴムシのポーズ」に代表されるように、特定の場面を想定した特定の行動を促す避難訓練の標語やポーズに対して、非常に否定的な立場をとっている。「おはしも」は、元々映画館や地下街など不特定多数が集まる閉空間での火災を想定した避難の標語である。学校での地震時の避難を想定したものではない。また、ダンゴムシのポーズは、諏訪⁷⁾が指摘するように、「ダンゴムシの姿勢は、運を



図1 おはしも（おかしも）の指導例
（出典：東京都教育委員会）



図2 ダンゴムシのポーズの指導例
（出典：東京都教育委員会）

天に任せた姿勢」であり、周囲の危険に注意することを放棄していると考えられる。また、地震時に身を守る行動として有効であるというエビデンスも存在しない^{補注}。

筆者らは、保育園・幼稚園や学校を始めとする保育・教育施設における避難訓練をアップデートする事業を2025年度から開始しており、こうした状況を変えていきたいと強く考えている。

補注

大木⁵⁾は、ダンゴムシのポーズの紹介の注意書きとして、「※耐震性のある建物内にいること、および、背の高い棚や重いものが上から落ちてこない環境にあることを前提としています。」と記載している。しかし、大地震においては、耐震化された建物であっても天井や照明器具の落下、ガラスの破損や外壁の脱落等、非構造部材の被害⁸⁾は十分に起き得ることに留意する必要がある。したがって、ダンゴムシのポーズは地震時に周囲の状況に注意することができないことから、ダンゴムシのポーズが身を守る上で有効な場面は、基本的に無いと筆者らは考えている。

参考文献

- 1) 秦康範：防災教育の最前線——「自ら考える」防災訓練の試み，αSYNODOS，Vol. 144，2014
- 2) ベネッセコーポレーション：じしんのときの おやくそく，2016
- 3) 国崎信江：ぐらぐらゆれたら だんごむし（おやかでまなぼう！防災しかけ絵本），東京書籍，2018
- 4) 中央教育審議会初等中等教育分科会学校安全部会（第11期）学校安全部会（第2回）議事録，
(https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/085/gijiroku/mext_00001.html)
- 5) 大木聖子研究室：未就学児のための 防災教育の手引き，
(<https://www.bousai.go.jp/kaigirep/pdf/210302-sanko1.pdf>)
- 6) 文部科学省：文部科学省×学校安全，
(<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/>)
- 7) 諏訪清二：防災教育の内容を問う① ちょっと残念な防災教育，2020 (<https://moshimo-stock.jp/article/entry/2020/05/ques-edu-1/>)
- 8) 文部科学省：学校施設の非構造部材の耐震化ガイドブック（改訂版），2015